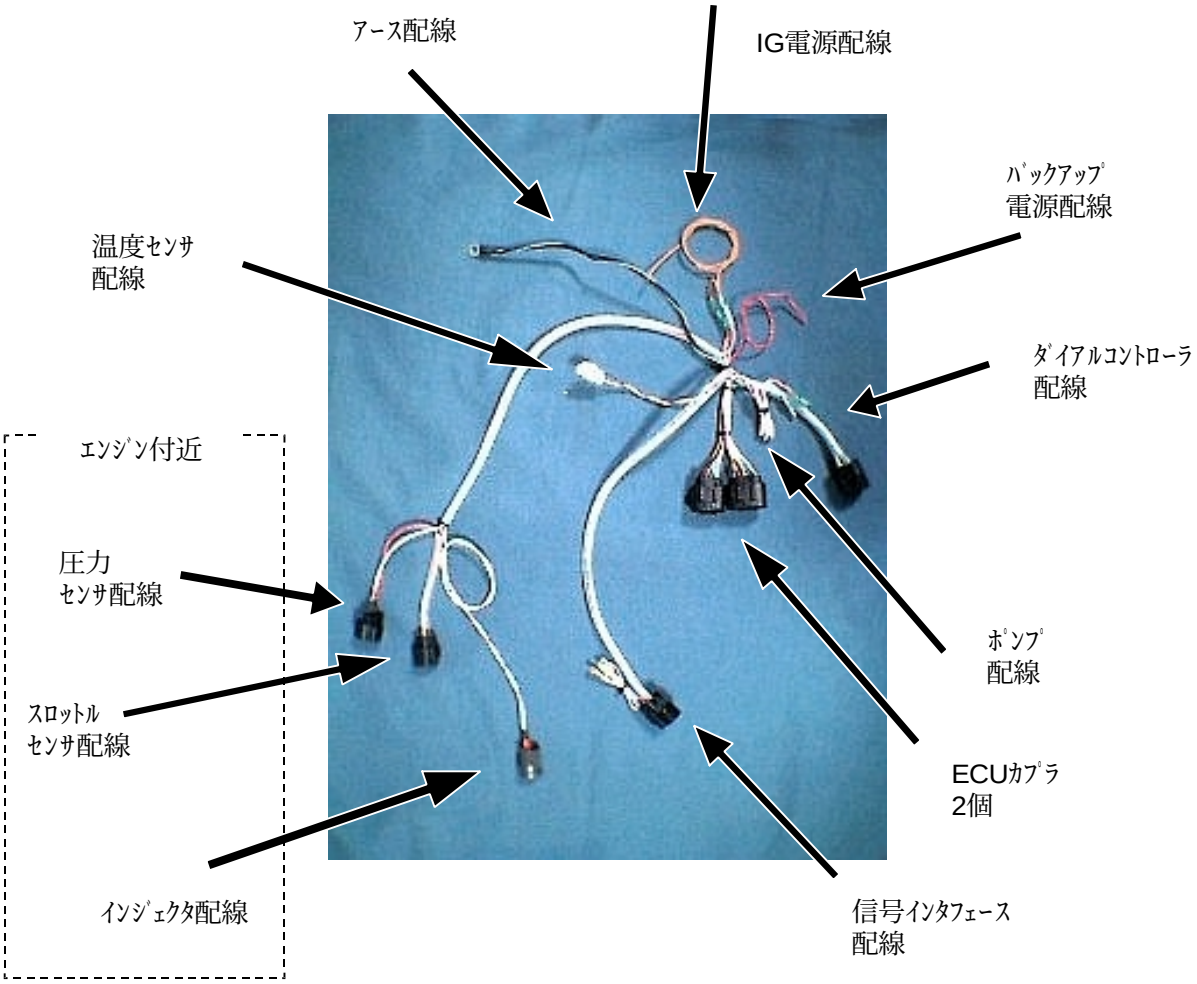
「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

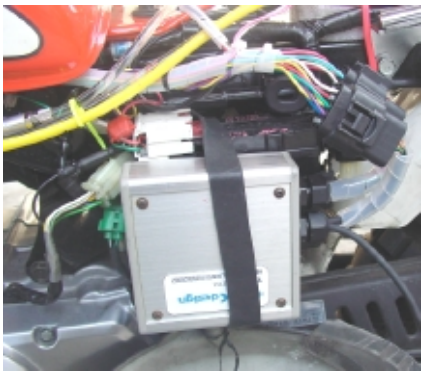


「 ﾊｰﾈｽ全体外観 」

(1) ﾊｰﾈｽ本体、各ﾕﾆｯﾄ本体を取り付ける車両に合わせてみて、各ﾕﾆｯﾄの搭載位置を決定します。

(2) 各ﾕﾆｯﾄを搭載し、固定します。

(3) ﾊｰﾈｽをﾀｲﾗｯﾌﾟﾊﾞﾝﾄﾞなどを使って車両に固定します。



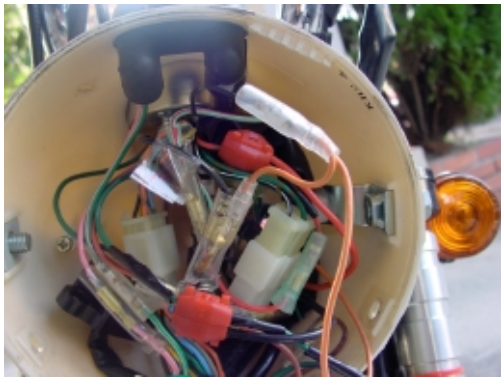
FCﾃﾞｻﾞｲﾝのﾓﾝｷｰではECUをﾊﾞｯﾃﾘｰ横にﾊﾞﾝﾄﾞで固定しています。

「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

(4) ﾊｰﾈｽのIG電源への接続配線（ｵﾚﾝｼﾞ色）は、IGｷｰｽｲｯﾁをｵﾝしたときに電源が供給される線に接続します。ﾓﾝｷｰの場合、通常はﾒｰﾀ内に配線があります。

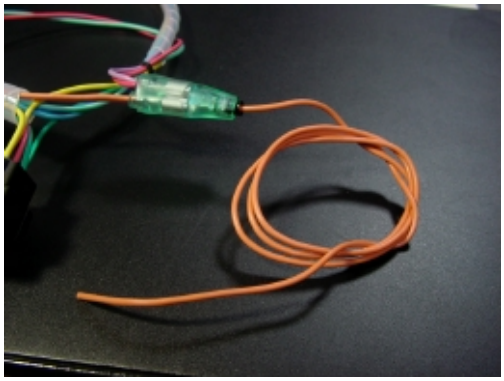
（ﾒｰｶｰ出荷時の車両側のIG電源の線色は黒です。）

ｷｯﾄにはｴﾚｸﾄﾛﾀｯﾌﾟを2個同梱していますので、IG結線とﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電源の結線にご使用ください。



ﾒｰﾀ内配線。（この写真ではIGへの接続をｷﾞﾎﾞｼ端子で行っています。）

エレクトロタップ



配線ｷｯﾄでIG電源へ接続する配線。（ｵﾚﾝｼﾞ色）

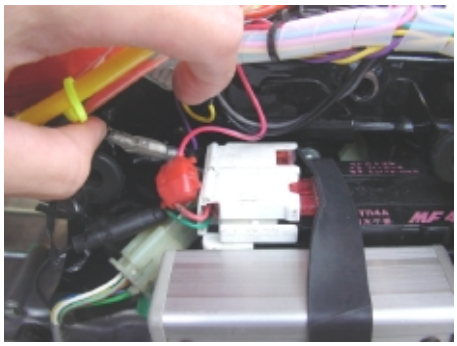
※ｴｺﾗﾝ用途では、ﾊｰﾈｽのIG電源への接続配線（ｵﾚﾝｼﾞ色）は、ｷｰｽｲｯﾁを介してﾊﾞｯﾃﾘｰのﾌﾟﾗｽに、接続して下さい。

「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

(5) ﾊｰﾈｽのﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電源配線（赤色に黒線）は、ﾊﾞｯﾃﾘｰの＋配線など、常に電源が供給されているところに接続します。

（ECUはｷｰｵﾌ後、数秒間だけこの電源を使います。常時この電源を使用するわけではありませんので、余分な待機電力は消費しません。）

※ｴｺﾗﾝ用ではﾊﾞｯﾃﾘｰのﾌﾟﾗｽ側に直接接続して下さい。



FCﾃﾞｻﾞｲﾝのﾓﾝｷｰではﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電源をﾊﾞｯﾃﾘｰｶﾌﾟﾗの＋側配線にｴﾚｸﾄﾛﾀｯﾌﾟで接続しています。

(6) ｱｰｽ接続線（丸端子付）を車体のｱｰｽに取り付けます。

配線ｷｯﾄの、ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ電源（赤色に黒線）とｱｰｽ配線（丸端子付）

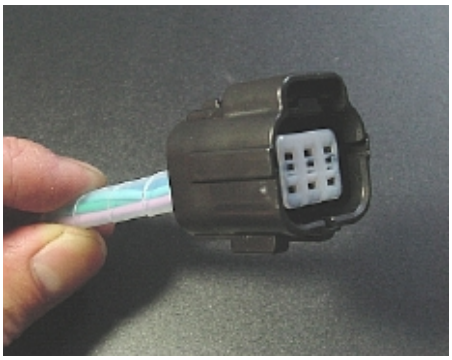
(7) 配線の＋、－の接続が間違っていないか再確認します。

「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

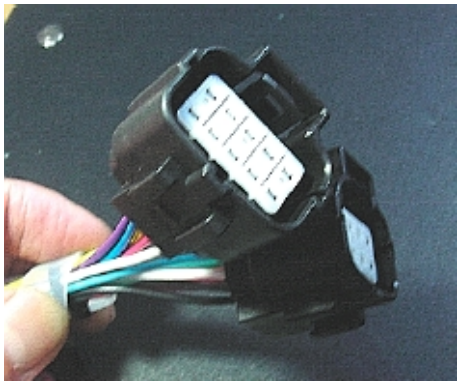
(8)　各ﾕﾆｯﾄと配線ｷｯﾄを接続します。

ｽﾛｯﾄﾙｾﾝｻｶﾌﾟﾗは3ピンです。

ｲﾝｼﾞｪｸﾀのｶﾌﾟﾗは、ｸﾞﾚｰ色の2ピンです。



ﾀﾞｲｱﾙｺﾝﾄﾛｰﾗｶﾌﾟﾗは6ピンです。
ﾀﾞｲｱﾙｺﾝﾄﾛｰﾗはﾊﾝﾄﾞﾙ付近に取り付けできるように配線長を長めに作ってあります。



ECUｶﾌﾟﾗは10ピンと8ピンの2個です。

「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

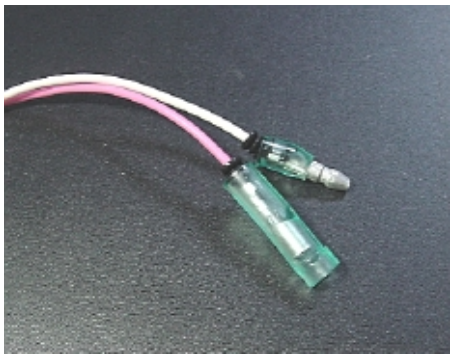
(8)　各ﾕﾆｯﾄと配線ｷｯﾄを接続します。

信号ｲﾝﾀﾌｪｰｽのｶﾌﾟﾗは4ピンで薄紫色の端子付配線が出ています。

この配線は、ﾒｽをｺｲﾙの(+)側に、ｵｽをもともとｺｲﾙに結線されていた車両側配線に接続します。
ﾓﾝｷｰの場合ですと、ｺｲﾙの(+)側端子の根元は黒色で（―）側が緑色です。

※ｴｺﾗﾝ用では、信号ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽﾕﾆｯﾄの替わりに近接ｾﾝｻを用いる場合があります。その場合はこの項目の作業は不要です。近接ｾﾝｻの接続に関しましては別資料に記載がございますのでご参照ください。

ﾎﾟﾝﾌﾟの配線はｷﾞﾎﾞｼ端子です。
ﾋﾟﾝｸ色が(+)で白が(―)です。
ﾎﾟﾝﾌﾟに取り付けられている配線と接続して下さい。



※ｴｺﾗﾝ用では、ﾎﾟﾝﾌﾟを使わない場合は、ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞﾐｰ抵抗を接続します。

「 ﾊｰﾈｽ接続の手引き 」

(9) 各配線の接続に誤りがないか確認したら、IGｷｰをオンにしてください。
その際、ﾎﾟﾝﾌﾟが十回程度ﾊﾟﾙｽ駆動され、ﾀﾞｲｱﾙｺﾝﾄﾛｰﾗのLEDが点灯したら、ECUは起動しています。

ﾏﾆｭｱﾙの (3)「取り付けに伴う設定、調整作業」を参考に、各ｾﾝｻの動作確認と初期値設定を行ってください。

D-Jetro版（圧力回転数方式版）の場合

圧力ｾﾝｻも接続してください。